

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 5 月活動報告
PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果 (回答 13 名)

5月30日(土) 13:30 ~ 16:00	5月31日(日) 9:00 ~ 12:00
9名 (回答数8)	8名 (回答数5)

延べ 17 名 (回答数 13) : 一意 10 名

1. あなたの性別を教えてください。

男性	10名
女性	3名

2. あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20~35歳	0名
35~49歳	1名
50~64歳	0名
65歳以上	12名

3. 末崎活動(パソコン、竹とんぼ、キッズディー、ごいし民俗誌、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	2名
2~4回	3名
5回以上	1名
10回以上	7名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	11名
それ以外	1名
未回答	1名

5. 今回の参加プログラム(「パソコン・ネットよろず相談」)を教えてください？

30日(土)午後	8名
31日(日)午前	5名
未回答	0名

6. 参加したプログラムはいかがでしたか？

とてもよかった	12名
よかった	1名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	0名

7. また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	12名
参加したい	1名
どちらとも言えない	0名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名

8. 今回のプログラムを何で知りましたか？

KK2のWebサイト	1名
メルマガ・DM	2名
看板・チラシ	1名
友人・知人経由	0名
デジタル公民館まっさきのWebサイト	2名
前回参加した	1名
フェイスブック	1名
館報まっさき	7名
その他	1名 (Windows Update)

9. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ 皆さんと再会できた。
- ・ 不要なアプリをアンインストールしてもらった。
- ・ 操作のしかたを教えてもらった。
- ・ まだまだ知りたいことがたくさんあるので続けてほしいです。
- ・ まだまだ続けてください。お願いします。

10. ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	11名
持っていない	2名
未回答	0名

11. ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	12名
ない	1名
準備中	0名
未回答	0名

12. 普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

	している事	覚えたい事
インターネットの閲覧	8名	3名
メール	6名	4名
フェイスブック	7名	4名
ブログ	0名	1名
ホームページ作成	2名	5名
文章作成	4名	2名
写真保存	6名	2名
計算ソフト	3名	1名
未回答		0名

13. 今後、私はこんな事がしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか?(複数回答)

パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする	8名
パソコンが使えない人が調べてほしいことを代わりにインターネットで検索をする	6名
パソコンが使えない人に代わってネット通販で生活必需品を(一緒に)購入する	2名
ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する	7名
インターネット電話 S k y p e (スカイプ) で遠く離れている人と電話やテレビ電話をする	5名
わかめなどの地域の名産品や観光・文化等を全国に P R する	3名
町を離れた人に復興やまちづくりの情報を発信する	2名
高齢者、現役世代、子どもたち等に話を聞いて紹介する	3名
未回答	3名
その他	0名

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 5 月活動報告

まっさきに学ぶ！まちおもいトーク 現地参加者アンケート結果 (回答 6 名)

5月30日(土)
18:30 ~ 21:00
10名

1. あなたの性別を教えてください。

男性	4名
女性	2名

2. あなたの年代を教えてください。

20歳未満	0名
20～35歳	0名
35～49歳	1名
50～64歳	1名
65歳以上	4名

3. 末崎活動(PC、竹とんぼ、寄席、音楽会、映画会等)への参加回数を教えてください。

初めて	2名
2～4回	0名
5回以上	1名
10回以上	2名
未回答	1名

4. お住まいはどちらですか？

末崎町内	5名
それ以外	0名
未回答	1名

5. 今回の参加プログラムを教えてください。

30日(土)午後 「パソコン・ネットよろず相談」	1名
30日(土)夜 「まちおもいトーク&情報交流会・懇談会」	6名
31日(日)午前 「パソコン・ネットよろず相談」	0名

6. 参加したプログラムはいかがでしたか？

とてもよかった	2名
よかった	3名
どちらでもない	0名
あまりよくない	0名
よくない	0名
未回答	1名

7. また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	2名
参加したい	2名
どちらとも言えない	0名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名
未回答	2名

8. 今回のプログラムを何で知りましたか？

KK2のWebサイト	0名
メルマガ・DM	0名
看板・チラシ	2名
友人・知人経由	1名
デジタル公民館まっさきのWebサイト	0名
前回参加した	1名
フェイスブック	0名
館報まっさき	1名
未回答	2名

9. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

(回答なし)

10. ご自宅でパソコンは持っていますか？

持っている	6名
持っていない	0名
未回答	0名

11. ご自宅にインターネット回線はありますか？

ある	6名
ない	0名
準備中	0名
未回答	0名

12. 普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

	している事	覚えたい事
インターネットの閲覧	6名	1名
メール	4名	0名
フェイスブック	4名	2名
ブログ	0名	0名
ホームページ作成	1名	2名
文章作成	5名	0名
写真保存	4名	1名
計算ソフト	2名	0名
未回答		0名

13. 今後、私はこんな事がしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか？(複数回答)

パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする	1名
パソコンが使えない人が調べてほしいことを代わりにインターネットで検索をする	2名
パソコンが使えない人に代わってネット通販で生活必需品を（一緒に）購入する	0名
ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する	2名
インターネット電話 S k y p e（スカイプ）で遠く離れている人と電話やテレビ電話をする	1名
わかめなどの地域の名産品や観光・文化等を全国に P R する	1名
町を離れた人に復興やまちづくりの情報を発信する	2名
高齢者、現役世代、子どもたち等に話を聞いて紹介する	0名
未回答	0名
その他	0名

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 5 月活動報告
スタッフ・アンケート結果(13 名中 12 名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性	10名
女性	2名

2. あなたのメンバー区分を教えてください。

KK2 メンバー	4名
Web 会員	8名
一般	0名

3. あなたの年代を教えてください。

20 歳未満	0名
20～34 歳	0名
35～49 歳	3名
50～64 歳	8名
65 歳～	1名

4. KK2 プログラムへの参加回数を教えてください。

初めて	1名
2 回～4 回	4名
5 回以上	3名
10 回以上	4名

5. 今回の活動への参加動機・目的・趣旨は何ですか。また、それに対する達成度や満足度を教えてください。

とてもよかった	5名
よかった	6名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名

(自由記入) :

(参加動機等)

- 被災地の現状をはだで知り、少しでも東北被災地へ貢献したかったため、参加しました。被災後の地域課題・問題だけでなく、震災以前の元々あった課題、問題をここにきて強く感じ、意識されるようになってきたように思われた。これからさらに支援が必要になってくると感じた。
- 末崎地区の方々との交流。地域住民との交流。

- ・ 前回2月に初めて参加させていただき、だいたいの要領が分かりました。そのため、その経験を生かして、より一層現地の方々に寄り添った対応をしていきたいと考えたことが、参加動機です。
- ・ 継続支援。まっさきメンバーが改変されてから初回の活動であるため引き継ぎも含めて参加した。
- ・ 参加の目的は、昨年のPCよろず相談でご縁ができた方のその後のお話をうかがうこと、地元の方々の親交、参加者相互の交流。
- ・ 住宅、店舗など仮設から本設への移転が進んだ例もあり、現地の方々の近況を確認したかった。また、PC相談の相手ができるのか再びトライしたい。
- ・ 新年度・新体制・新プログラムとなり、まっさきの今がどう変わって、どう変わらなかったのかを確かめたかった。
- ・ ①まっさきの方々との交流、②新しい繋がりづくり、③新年度に入り、変わったこと変わっていないこと、変えなければならないこと、どんなことが求められているのか、今年はどうなことが可能なのか、などなど感触をつかむため。

(達成度、満足度等)

- ・ PCネットよろず相談に関しては、前回の経験を生かして想定どおりにできたと思います。(達成度90%ぐらい。)
- ・ パソコンよろず相談について：私が担当した方がよるこんで帰ってくれたのがうれしいです。
- ・ ほぼ目的どおりの成果が得られた。
- ・ 旧来の活動を着実に継続しつつ、ランチ交流会や視察など、外部の発想・視点での取り組みもあり、全般的に活動としてはよかったのではないのでしょうか。それと同時に、新規参加者や若い方の参加がなく、こちらは依然として、課題だと思いました。

6. PC ネットよろず相談についていかがでしたか？

とてもよかった	6名
よかった	5名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 参加者のスキルが上がるのを肌で感じる事ができ、やりがいを感じた。
- ・ 参加者とアドバイザーが、毎回大きな目標と、そこに到達するための当面の目標を確認・チェックしながら、学習することはとても意義がある。年齢年代に関係なく「学び」が必要を感じるプログラムである。
- ・ 男性の参加が増え、男性の比率が高くなった。女性の参加者が減ったのにはなにか理由があるのだろうか。女性が忙しい土日だったのか、あまり魅力がなくなったのか、気になるところ。

(活動の様子)

- ・ 現地参加者のPCの個別の問題かもしれませんが、ネットワークが時々切断されて、PCが自動的にダイヤルアップでつなぎにいこうとしていました。それが頻りに、画面真ん中にメッセージの形で表示されるので、少し困りました。何度かダイヤルアップをキャンセルし続けると、いつのまにかきちんとネットワーク接続されるようになるので、大きな問題にはなりません。ただ、その現象について、なぜか？ときかれて答えられず残念でした。
- ・ パソコンのセキュリティパッチの更新を行ったが、時間内に結局できなかった。
- ・ 初めての参加者(利用者)が数名あったことはとてもよかった。他の活動では男性の参加者確保に苦戦しているが、今回は男性の利用者が9割を占めたことは特記すべき点である。
- ・ 最近撮りためた写真を取込んで解説をつけて、これまでの講演資料と組み合わせて、新たな講演用の資料を作成したい、という明確な目的があったので説明しやすかった。写真の枚数が多いのでサイズを縮小してからPPTに貼る説明をしたが、縮小前のデータを貼ってしまい、後からPPT上でファイル圧縮をすることになってしまった。ファイルサイズが大きくなってしまったのが悔やまれる。

(カルテについて)

- ・ 参加者カルテを前面に出してよろず相談を行ったのは、双方にメリハリをもたらしたかったのでは。
- ・ カルテが記入しづらかったり、参加者の方にいくつも記入をさせなければならない。もう少し簡略化できると良いと感じた。
- ・ 今回は私の不慣れな所だと思いますが、参加者カルテは思う様に記入できませんでしたが、フォーマットは今のままでも良いと思います。記入できていない理由は、相談に来た方と色々な話をして、カルテの内容の質問がおろそかになってしまったこと、私がカルテの構成を十分に理解できていなかった(ポイントを考えて聞けば良かった)ことです。
- ・ カルテ作りのところで少々混乱があった。今後、情報や事務についての共有化が課題。
- ・ 新カルテのフォーマットは、調整いただいて、スムーズな導入になったと思います。あとは、参加者、受講者のフィードバックがまたれます。

7. 「まっさきに学ぶ」まちおもいトーク&情報交流会・懇談会についていかがでしたか？

とてもよかった	4名
よかった	6名
どちらでもない	2名
あまりよくない	0名
よくない	0名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 地元の方のいろいろな考え、意見を直接聞け、良い経験だった。
- ・ まっさきの魅力についての議論に参加することができて良かった。
- ・ 今回のような形式での意見交換会はとても有意義だと思いました。受身ではなく、自分の思いや経験を共有することは、現地の皆さま同士のみならず、活動スタッフ側にとっても、よかったと思いました。
- ・ 末崎地区の現状がわかった。
- ・ 情報交換は良いことだと思います。どうすれば町が活性化され、人が増えていくのかは難しいことと思いました。
- ・ 地元の方が情報を提供し、スタッフが地元の方に、地元に対する思いを話す構造で、かつてない取組みで、相互交換的でたいへん良かったと思います。
- ・ 議員さんの話はとにかく自慢話に終始することもあるのでは、と当初は心配したが、そうではない事がわかり、安心すると同時に、市会議員活動に共感をもった。国会議員と異なり、地域の事情をよく理解していると思った。
- ・ 地元の方の参加が少なかったのは残念だった。地元の方の「まちおもい」と活動スタッフの思いにはギャップがあると感じた。それがわかって良かった
- ・ 地元の声を聴く貴重な機会となった。活動スタッフが、ややクールな見方を示したように思えるが悪くはなかったと思う。

(今後の要望)

- ・ 30、40、50歳以下等、若いだけを集めたトーク&情報交流会・懇談会を企画してほしい。

8. 「まっさきに学ぶ!視察研修会」についていかがでしたか？

とてもよかった	7名
よかった	4名
どちらでもない	1名
あまりよくない	0名
よくない	0名
不参加・未回答	0名

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

- ・ まっさきの魅力について直接見ることができ、また復興の状況について知ることができた。
- ・ 前回(2月)はほぼ公民館に缶詰でしたので、訪れた地域がどのような場所なのかとか、公民館に来られていない方々はどんな人たちなのかを知ることがありませんでした。漁協の作業場や鮮魚販売店、港湾施設などの視察に参加することで、自分が今、どんなところに来ているのかを実感でき、現地に対する愛着や理解を深めることができたと思います。
- ・ 震災後に作業場や飲食ができる場所を復活させて、活動している現場を直接見られるのは良かったです。また、現地の方々の話が聞けたのは良かったです。
- ・ 朝市の初回に参加できたことは幸運だった。港の昆布作業場も、そのような施設自体あるとは思っていなかったで、社会勉強になった。
- ・ 「大人の社会科見学」として盛りだくさんで大変満足。施設見学だけでなく働いている方からの直接の説明を体験ができたことで、海産物が店頭で並ぶまでには多くの方々の手作業を経ていることがわかった。
- ・ 廻った場所がよかった。また、その場でいろいろなお話を聴けてよかった。ただ、長洞では番屋とコミュニティハウスを外から見るだけで時間がもったいなかった。
- ・ 朝市の初回に居合わせる機会を得た。シタボの新店舗で買い物、ラ・メールのランチ、塩蔵作業など体験と交流が同時にでき

- てよかった。今後に備えて、高齢者問題の現場にもっと接近したかった。
- いつもの場所とは違う視察で、その上、作業場見学や朝市などあり、視察以上のものを得られたと思います。地元情報に詳しい方は多くいらっしゃるの、今後も、色々な場所・出会いへとつながっていけばと思います。鮮魚シタボさんは、いつも以上のおもてなしでした。
- 「居場所ハウス」の取組みは、超高齢社会の先進事例となりうる good practice でした。

9. 「デジタル公民館まっさき」活動に、また参加したいと思いますか？

ぜひ参加したい	7名
参加したい	4名
どちらとも言えない	1名
参加したくない	0名
まったく参加したくない	0名

備考・自由記入

- 微力ながら自身のスキルを今後の活動と大船渡の活性化にお役に立てればと思います。また、これまでにご縁ができた皆さまとの親交を今後も深めてまいりたいと考えます。
- 自分のもてるスキルがだれかの役に立つということは、人間としてもうれしいことです。また、意見交換の場でご説明した IT 企業だからできる出張授業(教育 CSR)の取組みも、現地の皆さまからは概ね良好な印象を持っていただいたと感じました。ご紹介の機会をいただき、ありがとうございました。何らかのニーズがございましたらボランティアで実施いたします。今後も、何かお役に立てることがあれば、精一杯取組みたいと思っております。
- よろず相談について
IT の知識体系からの教える側の論理の教室が地域のニーズにそぐわないことを実感したので、業務プロセスを物語に代えて、PPT による企画書、ちらしづくり、Excel による会費・収支計算書、家計簿、Word による手順書、案内状づくり、遠隔地間会議、独居老人、家屋防犯監視、農地鳥獣被害監視、ペット監視などの組み合わせでまっさきの身の回りに起こる物語のシーン別に最終回までにシナリオをもって纏めてみたい。

10. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

① 全般

- 今回は食事を地域の食堂で摂れたのは良かった。地域の経済支援になるのでぜひ継続できたら良いと思う。
- よろず相談以外の活動について振り返りができなかった。実施直後にスタッフ間の意見交換を実施する運用を要検討。
- 居場所ハウスのソフト面の機能、事業化推進状況を伺え、また、実際に食事の提供サービスをうけることができ勉強になった。農作物を栽培し、それを加工し、提供する各役割を担う方の表情を拝見すると、ともに生き生きとされており、被災地という特殊性よりは、我が国が直面している長高齢社会問題のアクティブシニアの問題解決モデルの一つを視察できた意義は大きい。
- 羅・萌衣瑠での昼食では、民宿暮石丸が復興フェーズに入ったことに触れられ、また、本活動の一環として 10 数名による来店で、フロア運営の混乱を危惧された地元の方が手伝いに駆けつけてこられたことに触れ、被災地の地域コミュニティが、その復興プロセスを通じて再生してゆく態様の一つを垣間見ることができ、有意義であった。
- 会場の設営、撤収については、協力的でスムーズに実施でき良かった。
- 一ノ関、大船渡間の移動では、参加メンバーが分乗した中でのファシリテート、情報共有のあり方が課題となった。
- 今回は内容盛りだくさんでした。活動を終えて、社会に戻ると体がついていかないことに体力不足を痛感した。
- 初日の 1 日が長すぎ、参加者に疲労がみられる。夕方からの活動の時間の見直しをしてはどうでしょうか。
- 講演会の形ではなく、意見交換会的に雑談ができるような雰囲気を作って、地元の方の意見を聞き出すようにできたらと思います。
- 今年度初の活動に参加させていただき、微力ながら活動主旨にお役にたてた事を嬉しく思います。みなさまありがとうございました。
- 新年度の仕切り直しの事業、不安点や時間管理などの課題もありましたが、現地・われわれ双方に実りの多い活動だったのでないでしょうか。
- まっさきの人事異動などもあり、活動スタッフ側とまっさき側のマッチングが、いま一つのような感じがするが、公民館の職員さんもよろず相談に参加してくれてよかった。
- いつも思うのですが、第 1 日目宿泊先での語らいには、流されてしまいます。振り返り(その日の報告・意見・感想)と懇談は 1 時間ふりかえり、そのあと懇談と分けることでメリハリつけたほうがよいと思います。

② パソコンよろず相談について

- ・ よろず相談の振り返りについて、初日にカルテの運用その他について、若干実施したが、充分ではなかった。
- ・ 二日間実施する活動については、初日に振り返り、二日目にフィードバックする運用が必要。よろず相談終了後に実施する運用を要検討。
- ・ 来場者の来場目的が明確で、PC を持参され、同一環境で Q&A 対応することができて良かった。
- ・ 2名の来場者から、一般的な PC 教室は、教える側の教えたいことの受動的形式であることや、受講者のハードソフト、構成、バージョン、スキルが多様であり、他の受講生が指導を受け終わるのを待機することで、受講時間が消費される 1:n の教室運営の問題が指摘された。本事業ではカルテ共有、相互補完体制による n:1 のチーム方式をとっているため、その有効性を確認することができた。今後は、よろず開催期間に、開催場所に来場することができない方への遠隔質問対応システムや、開催場所に移動できない遠隔地スタッフからの指導を受けるシステム、開催期間と開催期間の間のネットワーク型対応システム等、運用の改善が課題である。
- ・ 改善事項は参加スタッフからそれぞれ指摘があるものと思われるが、フォーマットと運用を統一したことは、今後、継続的な改善を図ってゆく上で有効であることが確認できた。課題は、個人情報に関する説明と同意に関する書式と運用、事業者側の要求事項と来場者側の関心事項のギャップ下でのアンケートのあり方等。

③ 「まっさきに学ぶ」まちおもいトーク&情報交流会・懇談会

- ・ 地元の活動状況説明に対する来場者からの質疑が活発になるような工夫が必要と思われる。共通テーマについて、来場者に発言を求める進行を事前に検討するのも有効ではないか。漠然と「どんな町にしたいか？」をテーマにすると、その場で意見を出しにくいのではないか。例えば、①文化・教育、②労働・健康、③生活保障、④安全・安心、⑤環境・観光等、大船渡市民憲章に対応したカテゴリで、それぞれに対応して市が推進している諸事業について、具体的な意見を求める進行も有効ではないか。情報の提供側と受領側の二極構造となっていたような印象を受けたため、被災地の地域コミュニティが、統一テーマについて異なる立場間で意見交換する過程で、再生していくことに寄与することも本事業主旨にかなうものとする。

④ 「まっさきに学ぶ!視察研修会」

- ・ 研修ランチについて、地域で協働生産、協働提供するサービス形態、働き甲斐、生き甲斐をもって取り組まれている様子に触れることができ非常に勉強になった。居場所ハウスが生産、製造（調理）、販売（サービス）、消費等、異なる目的をもって地域の方々が集い、憩う場となりつつあり、一旦失ったコミュニティが今後、さらに活性化し、適度な収益を上げて事業として成り立つ水準まで向上させ、それが維持されることが期待される。
- ・ 記念すべき「第一回細浦復興朝市」を視察できたことはたいへん良かった。企画者、企画プロセス、協賛者・告知対象者、告知方法、売上予算、運用課題等の情報を取得し、大船渡温泉の敷地内で開催されている朝市との比較等、被災地の地域コミュニティ再生上、朝市が果たす機能等について学びの教材としたい。
- ・ 地元の方が一緒に見学できると情報も理解も深まるように思います。
- ・ ランチ研修は地元の特産を知る・広める意味でこれからも続けてほしいです。
- ・ 人数が多いので、店の方のために、みな同じメニューでいいように思います。あらかじめ（数日前に）注文するものを決めておいてお願いしておいてはどうでしょうか。

以上